

イノシシとの戦(いくさ)に負けないために

「イノシシを知る」⇒ 彼を知り己を知れば百戦殆からず
「集落環境管理と被害防除の徹底」⇒ 棲み分けを図る

食べ物を減らす⇒兵糧攻め

- ・農作物を取らせない(人間が怒るエサ)被害防除の徹底
- ・人間にとって不要なものも与えない(人間が怒らないエサ)
放任果樹や収穫残渣などエサになるものを適正に処理、処分、管理

身を隠せる場所をなくす⇒棲家を危険な環境にする

- ・農地・集落から藪・茂みを離す(耕作放棄地や周辺の刈り払い)
- ・里山の整備(特に林縁部)

総合的な被害対策は

- 1 番目 集落環境管理
 - 2 番目 被害防除
- } 棲み分け

3 番目 捕獲

- ・ それでも被害を及ぼしに来る加害個体は捕獲する
- ・ 捕獲では、被害は防げないので、捕獲に頼らない

地域リーダーの育成（地域ぐるみの対策推進）

地域で誰がやる？

- ・ **他人事**になっているので**誰もやらない！**
自分がやらなくても誰かがやってくれるだろう
自分は非農家なので関係ない 自分だけよければよい 等々
- ・ 被害防止対策をやらなければ、**イノシシに負け続ける**だけ！
- ・ **住民自ら自分事**としてやるしかない！
- ・ 被害防止対策の**牽引役**として、**地域リーダー**が必要である！

重要な事は 対策の順序を間違わず**棲み分け**を図る

◎地域住民みんなが、**他人事**でなく**自分事**として取り組む

◎正しい情報で、地域に応じた対策を考え**継続**して行う

先ずは、地域内を正しい情報で意思統一（合意形成）

地域づくりのためにも地域リーダーの育成が必要である。

- 地域には、住民をまとめる人材が必ずいる。

（適材適所のリーダー候補者）

- リーダーをひとりぼっちにしない体制作り。（地域コミュニティの再生）

・ひとりで寂しく苦勞させられるならやらない ⇒ 候補者不在となる。

- 話し合いを通じてみんなで取り組む。（地域コミュニティの再生）

・三人寄れば文殊の知恵 ⇒ 地域のいろいろな困りごとが洗い出される。

- 獣害対策リーダーができたなら他の事に取り組むリーダーもできる。

（地域の困りごと解決に意欲的に）

- 国、県、市も一緒に汗をかく覚悟で臨むことで、住民を動かす。

地域づくりのバロメーターは獣害対策(安田 亮 氏)

イノシシ対策事業の事前打合せ(論田集落)



集落リーダーの存在が重要

論田集落では、区長を中心に

- ・イノシシ対策担当
- ・中山間地域直接支払事業担当
- ・多面的機能支払事業担当

など

それぞれ集落内の事業について業務を分担しながら協力体制を整えている。(集落ぐるみ)

これにより、**集落内の話し合い**がよく持たれるようになり、**地域コミュニティの再生**に繋がっている。

補助金を活用した**集落ぐるみ**による侵入防止柵の設置

論田集落の取組

- ・市単侵入防止柵設置補助金
 - ・中山間地直接支払交付金
 - ・多面的機能支払交付金
 - ・農業共済組合獣害対策補助金
- などを活用して設置



集落住民(主に**女性**)を対象に研修会 (論田集落)

平成29年12月21日 開催



どこの集落でも**女性**は、家庭菜園などで元気に野菜などを作っています。
集落リーダーが、**女性**にも正しいイノシシ対策を学んでもらいたいと提案。
多くの**女性**が研修会に参加しました。
女性は、得た知識をいろんな人に広げてくれます。

講師 江口 祐輔 先生

獣害対策の集落リーダーは人気者(論田集落)



公民館内でお母さんたちが集い、楽しくお茶を飲みながら過せる**茶論 (さろん)**



ご清聴
ありがとうございました。

氷見市企画政策部
防災・危機管理監 茶木 隆之